

Google Workspace を自動化する「WinActor for Google Workspace」の提供開始

丸紅 I-DIGIO グループ・アドバンストインテグレーションセグメント(セグメント CEO:山中 茂生)の丸紅情報システムズ株式会社(代表取締役社長:佐藤 由浩)は、Google LLC が提供するクラウド型グループウェア Google Workspace の操作や各種サービスとの連携を自動化する独自のソリューション「WinActor for Google Workspace」の提供を開始します。

昨今、業務のデジタル化やテレワークの普及に伴い、クラウド型ワークスペースの活用が進んでいます。Google Workspace は、Gmail、Google カレンダー、Google ドライブ、Google スプレッドシート、Google ドキュメントなどを組み合わせることで、チームコラボレーションと情報共有を促進するコラボレーションウェアです。その活用が高度化するのに伴い、複数サービスをまたがる定型作業や、既存システム・ローカルファイルを含む一連の業務プロセスをどのように効率化するかが新たな課題となっています。Google Workspace の自動化手段として、Google Apps Script (GAS) を用いたスクリプト開発が一般的ですが、ローカルファイルや社内システム、他のクラウドサービスとの連携を含めた一連の業務プロセス全体をノーコードで自動化したいというニーズも高まっています。

「WinActor for Google Workspace」は、RPA ツール WinActor と Google Workspace を連携させることで、クラウドとローカル環境をまたいだ業務プロセスの自動化を実現します。直感的な操作性と高い安定性により、ユーザーはダウンロードやアップロードなどのファイル操作、共有リンクの発行など Google Workspace に実装されたさまざまな機能を自動化できます。自動操作はすべて API を利用したシステム連携で行うため、高速かつ信頼性の高い自動化プロセスを構築します。利用者は API やプログラミングの知識を必要とせず、RPA ツール「WinActor」のプロパティ画面で簡単に設定することができるため、従来のシステム開発より低コスト・短納期の業務効率化を実現します。また、安定性の高さによって長期的な運用においても安心してご利用いただけます。



図1 WinActor for Google Workspace の設定画面

<WinActor for Google Workspace の特長>

・Google Workspace 内外の一連の業務を自動化

Google ドライブ、社内基幹システム、ローカルファイルなど、Google Workspace 上で完結しない一連の業務プロセスを、WinActor のシナリオで自動化できます。ローカルファイル操作や、API がないシステムとの連携も対象とすることが可能です。

・API やプログラミングの知識が不要

利用者は API やプログラミングの知識を必要とせず、WinActor の GUI 画面上で対象サービスや処理内容を選択し、必要な項目を入力するだけでシナリオを作成できます。これにより、現場部門でも自ら自動化の設定・修正を行うことができます。

・高速かつ安定した運用

利用可能な範囲は API 連携で処理することで高速・安定な自動化を実現しつつ、API を持たない周辺システムには画面操作による RPA を組み合わせることで、業務全体を途切れなく自動化します。

・低コスト・短納期での導入

コーディングではなく GUI ベースの設定で構築できるため、従来のシステム開発と比べて低コストかつ短期間で導入でき、要件変更にも柔軟に対応できます

・GAS で構築した処理との連携

GAS で実現している自動化を補完し、その「外側」にある業務まで含めて自動化の範囲を広げるためのソリューションです。GAS で構築した処理と組み合わせて利用することで、Google ドライブ上のファイル操作(ダウンロード/アップロード、フォルダ作成、共有リンクの発行・設定、情報検索 など)と、ローカルフォルダや社内システムの画面操作を、WinActor のシナリオとして一括で自動化できます。また、プログラミングではなく GUI ベースでシナリオを設定できるため、GAS で作った部分をそのまま活かしながら、頻繁に変わる業務フローや画面変更にも柔軟に対応します。

・Gemini Enterprise をはじめとする Google Cloud サービスの活用を促進

WinActor for Google Workspace は、Google Workspace と外部環境をつなぐ橋渡し役として業務プロセスの自動化を実現します。これにより Gemini Enterprise を活用した業務においても、AI と既存環境の連携における「ラストワンマイル」をシームレスにつなぎ、AIの実務展開に貢献します。企業における Gemini Enterprise および Google Cloud の各種サービスの活用を支援し、AI 活用の推進と業務生産性の向上に寄与します。

はじめに、「Google ドライブ」との連携を容易に実現するライブラリを提供します。共有ドライブやマイドドライブ上でのファイル保存・取得・整理・権限設定などの定型作業を、WinActor のシナリオとして自動化することが可能です。今後、「Google スプレッドシート」、「Gmail」との連携ライブラリもリリース予定です。Google Workspace 上のさまざまな業務に対応するライブラリを拡充し、より広範な業務プロセスの自動化を支援していきます。

「WinActor for Google Workspace」ご導入を検討中のお客さまに、無償トライアルをご用意しています。製品サイトのお問い合わせフォームよりお気軽にご連絡ください。Box、kintone、DX Suite などさまざまなサービスに対応した連携アダプターも展開しています。

製品サイト: <https://www.marubeni-idigio.com/product/winactor/msys-library/googleworkspace/>

【丸紅 I-DIGIO グループについて】

丸紅 I-DIGIO グループは、丸紅株式会社の ICT 領域における事業会社グループとして、以下の 4 事業セグメントに注力し、商社の強みである幅広い顧客基盤とネットワークを生かした成長戦略を推進しています。

製造ソリューションセグメント: 製造業向けソリューション

流通・産業ソリューションセグメント: システム開発およびコンタクトセンターソリューション

デジタルソリューションセグメント: ネットワーク・ストレージ・クラウド・セキュリティ領域のソリューション

アドバンスドインテグレーションセグメント: IT 基盤領域の設計・構築・運用

ホームページ: <https://www.marubeni-idigio.com/>

<お問い合わせ先(プレス関係者窓口)>

丸紅 I-DIGIO ホールディングス株式会社

コーポレートセグメント コーポレート改革推進本部

マーケティング&コミュニケーション部 広報課

〒112-0004 東京都文京区後楽 2 丁目 6 番 1 号 住友不動産飯田橋ファーストタワー

電話: 03-4243-4040

<製品に関するお問い合わせ>

丸紅 I-DIGIO グループ

アドバンスドインテグレーションセグメント DX ソリューション事業本部 AI・RPA 事業部

電話: 03-4243-4320

*文中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

*ニュースリリース記載の情報は発表日現在の情報であり、予告なく変更される場合があります。